



平成18年12月期 中間決算概況

平成18年8月29日

株式会社 ピーエイ

東証マザーズ 証券コード:4766

PART 1
決算概要

中間決算概要のポイント

当中間期連結業績は、前年同期比で減収減益、当期利益が21百万円改善

1. 連結売上高は減収となったが、コスト改善により連結経常利益は微減

- 売上高は、求人情報誌、その他事業が増加となったが、Web求人広告の減少により減収
- コストは、情報サービス事業の原価率が改善

2. 連結当期純利益が改善

- 持分法適用会社の株式売却により、特別利益を計上

3. 連結業績予想との比較では、経常利益、当期純利益が大幅改善

- 連結経常利益予測 $\Delta 89$ 百万円(53百万円改善)
- 連結当期純利益予測 $\Delta 75$ 百万円(60百万円改善)

平成18年12月中間期決算サマリー

	連結			単体		
	H18(1~6月) (百万円)	前年同期比 (増減)	予測 (百万円)	H18(1~6月) (百万円)	前年同期比 (増減)	予測 (百万円)
売上高	840	△6.8%	890	703	△11.9%	659
売上原価	321	△15.1%		228	△27.3%	
売上総利益	518	△0.9%		474	△1.9%	
販売管理費	555	△1.2%		482	△3.7%	
営業利益	△36	△6.0%		△7	-	
経常利益	△35	-	△89	5	-	△38
当期純利益	△15	-	△75	28	-	△41

連結業績は、売上高840百万円、前年同期比6.8%減。経常損失35百万円
単体業績は、売上高703百万円、前年同期比11.9%減。経常利益5百万円

連結中間業績：3ヵ年セグメント別売上高、営業利益推移



■売上高

(単位:百万円)

	H16.6	H17.6	H18.6
情報サービス事業	668	830	740
その他事業	28	72	99

■営業利益

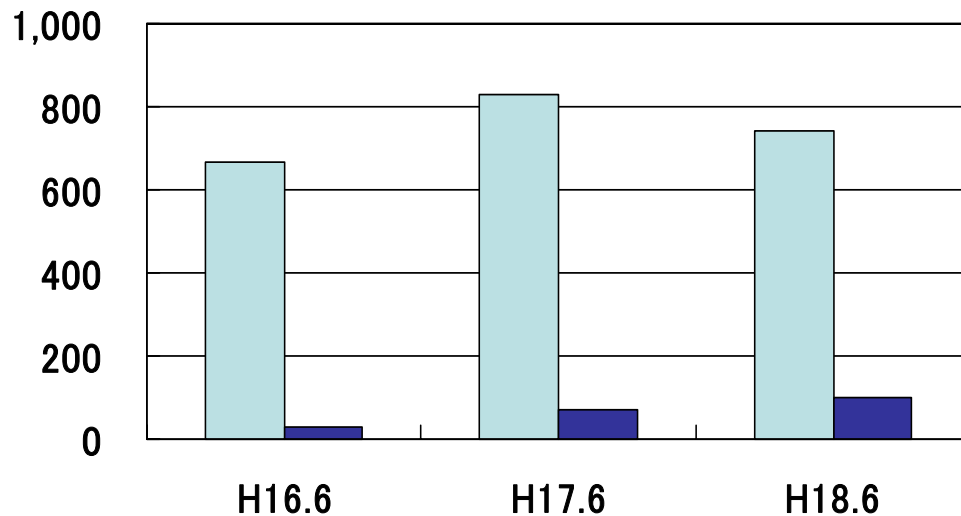
(単位:百万円)

	H16.6	H17.6	H18.6
情報サービス事業	△19	△40	△37
その他事業	△1	0	0

売上高

(単位:百万円)

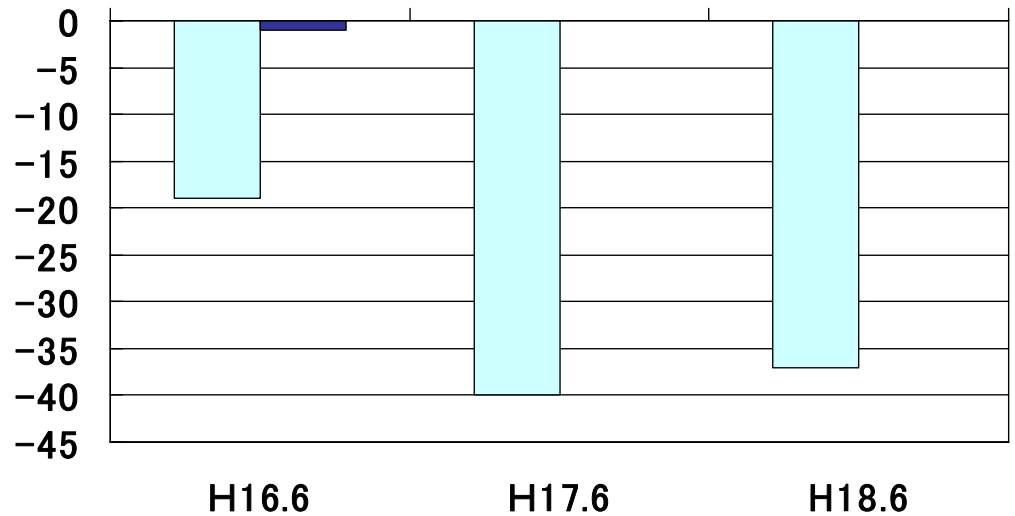
■ 情報サービス ■ その他



営業利益

(単位:百万円)

■ 情報サービス ■ その他

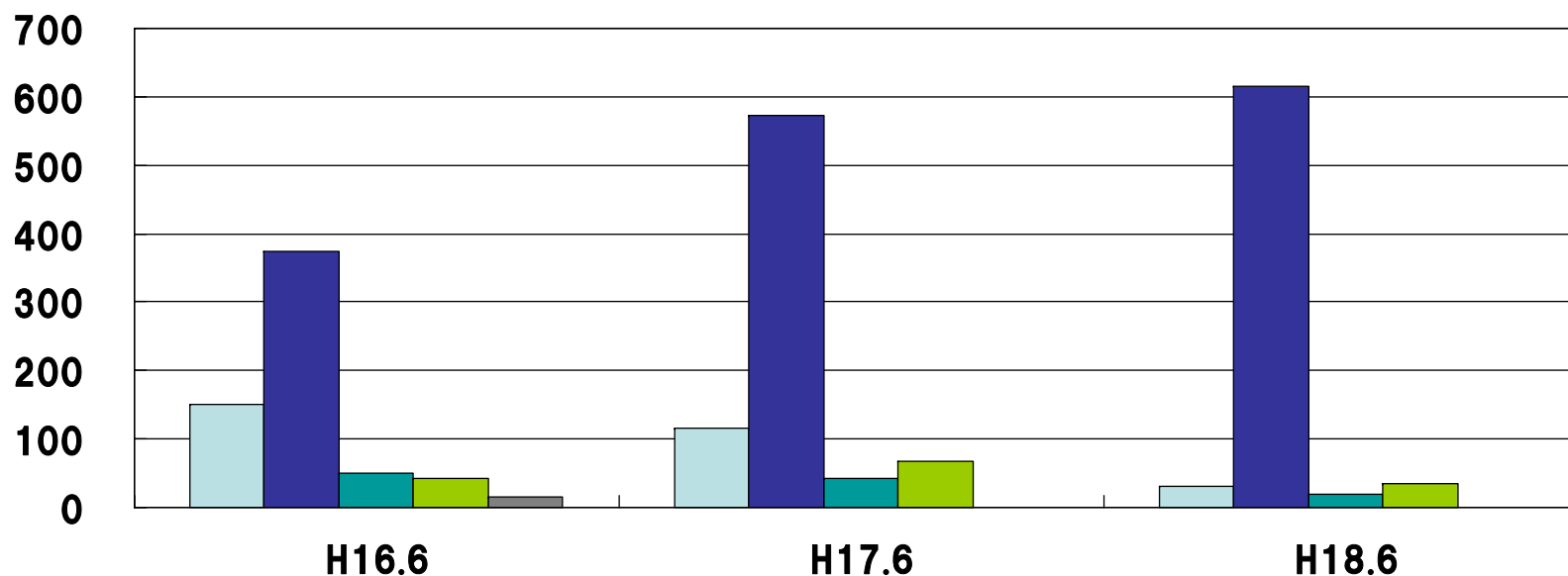


単体中間業績：3ヵ年サービス別売上高推移

(単位:百万円)

	H16.6	H17.6	H18.6
Web求人広告	150	115	31
求人情報誌	375	573	616
人材紹介	50	42	19
LicenseWorld	42	67	35
その他	16	-	-

■ Web求人広告 ■ 求人情報誌 ■ 人材紹介 ■ LicenseWorld ■ その他



*1 Web求人広告は、本年5月より分社化したため、4月までの実績となっております。
*2 その他とは、教育関連事業の売上高です。

連結中間業績: キャッシュフロー

		主な要因	
<ul style="list-style-type: none"> I. 営業活動によるキャッシュ・フロー 	△4百万円	<ul style="list-style-type: none"> • 税引前当期純損失 △14百万円 • 減価償却費 36百万円 	
<ul style="list-style-type: none"> II. 投資活動によるキャッシュ・フロー 	△3百万円	<ul style="list-style-type: none"> • 有価証券の売却等による収入 57百万円 • 無形固定資産の取得 △45百万円 	
<ul style="list-style-type: none"> III. 財務活動によるキャッシュ・フロー 	22百万円	<ul style="list-style-type: none"> • 短期借入金の増加 41百万円 • 長期借入金の返済 △20百万円 	
<ul style="list-style-type: none"> IV. 現金および現金等価物増減額 	14百万円		
<ul style="list-style-type: none"> V. 期首現金及び現金等価物残高 	479百万円		
<ul style="list-style-type: none"> VI. 期末現金および現金等価物残高 	494百万円		

PART 2
事業戦略

ピーエイグループの問題意識

人財に関する社会現象が日本経済の成長を阻害する可能性がある

【社会現象】

人口減社会

少子高齢化

2007年問題

ニート・フリーターの増加

【問題】

労働人口の
減少

【課題】

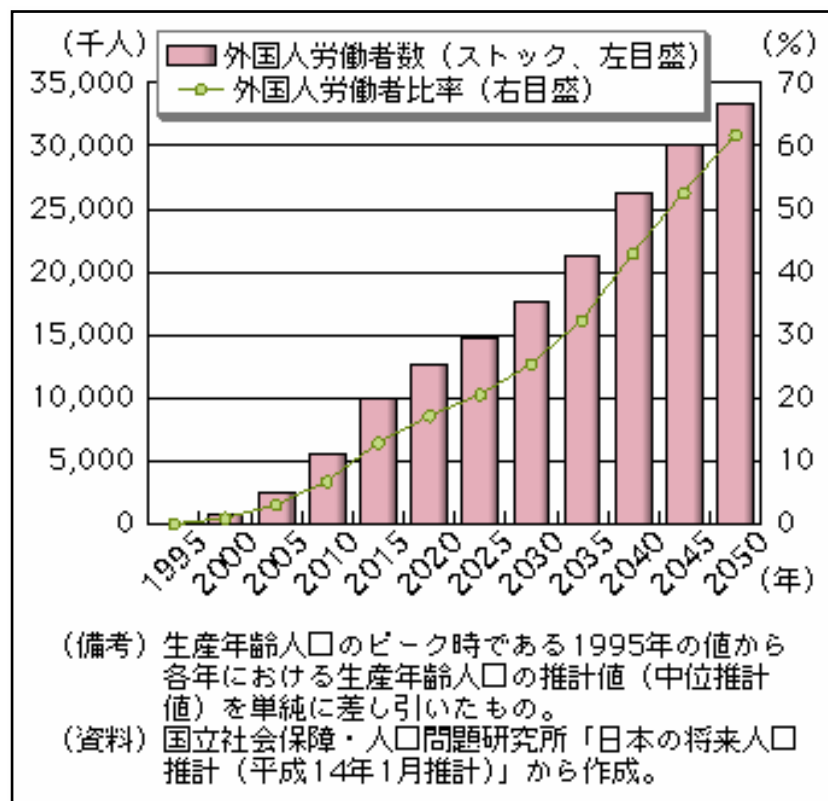
人財の流動化

新たな労働力(人財)
の確保

労働人口の不足

もはや、日本だけでは、生産年齢人口の維持が困難

生産年齢人口ピークを位置するために
必要な外国人労働者数



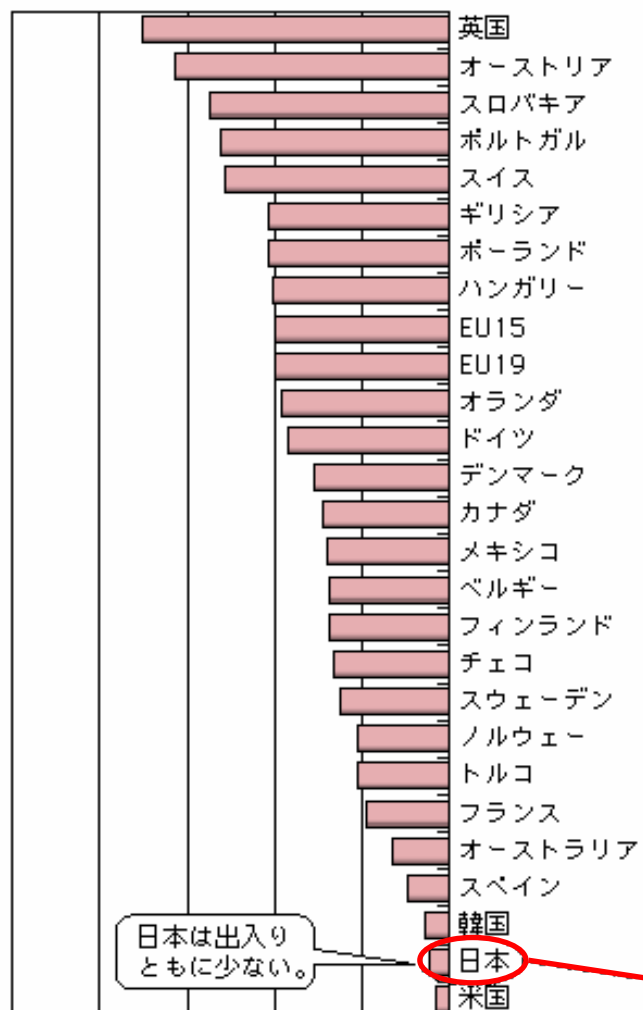
経済産業省は、現在の生産年齢人口を2030年時点において維持しようとする、約1,800万人の外国人労働者を受け入れる必要があると発表

**積極的に外国人、
特にアジアからの人材は有力候補である**

《出展: 経済産業省発表「通商白書」2005年版》

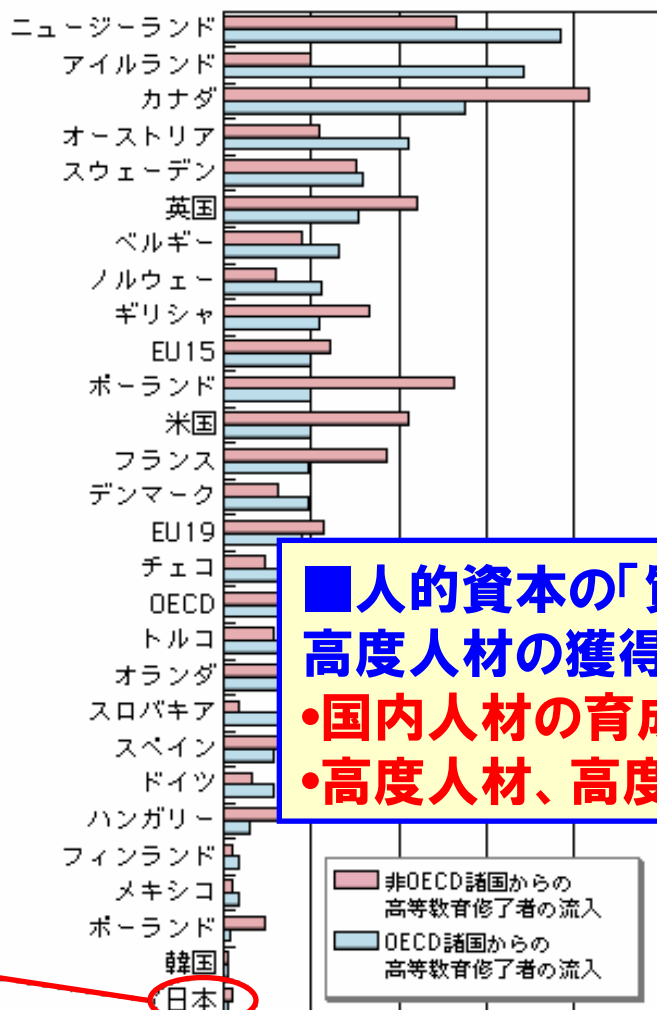
少ない人材流動化

OECD諸国の高等教育修了者に占める他国への流出割合(2001年)



日本は出入りともに少ない。

OECD諸国の高等教育修了者に占める他国からの流入割合(2001年)



■人的資本の「質の向上」と高度人材の獲得が急務

- 国内人材の育成・活用
- 高度人材、高度海外人材の受入れと活用

■ 非OECD諸国からの高等教育修了者の流入
 ■ OECD諸国からの高等教育修了者の流入

(%) -25 -20 -15 -10 -5 0

0 5 10 15 20 25 (%)

(出所) OECD (2005c) 「OECD Science, Technology and Industry」。

《出展: 経済産業省発表「通商白書」2006年版》

IT人材不足

IT人材不足は国家的な取組み課題になっている

■深刻化するIT人材不足

情報技術 (IT) の人材が**42万人不足**。

うち、上級レベル (システム設計、構築、運用リーダー・ITアーキテクト等) は**26万人不足**する

《出展:総務省 平成18年6月「平成18年度事後事業評価書」》

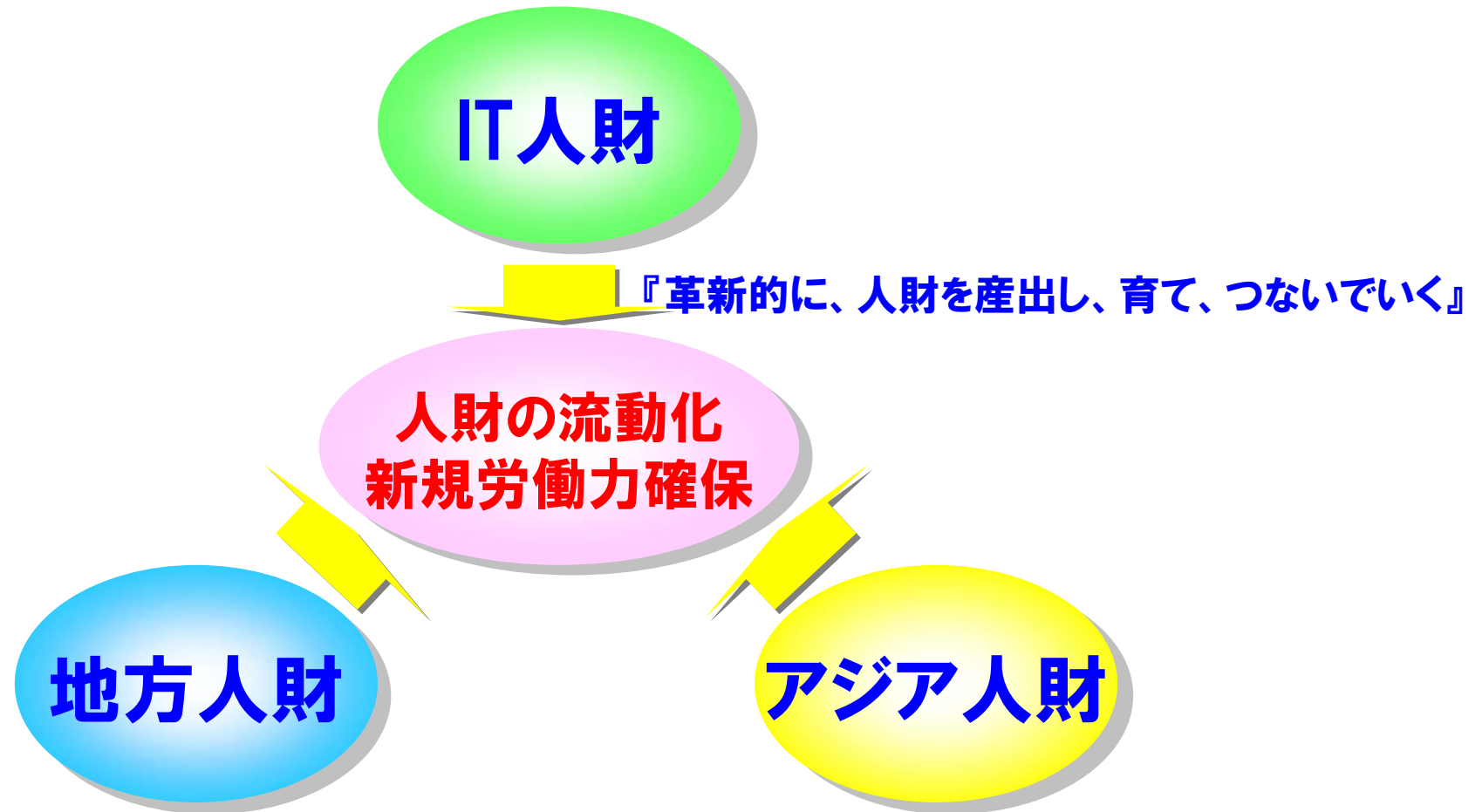
■日本国家は第3世代の『IT新改革戦略』へ突入



《出展:首相官邸 <http://www.kantei.go.jp/>》

Our Focus

Innovative Human Resource Developer



Our Focus & Core Value

ユニークなビジネスモデルで、各人財を活用・育成し、取組み課題に貢献

②
IT人財

世界の技術標準化団体OMG
との強固なパートナーシップを
持つ関連子会社
(株)UML教育研究所



<http://www.umcert.org/>

※OMG:Object Management Group

『人と企業のベストマッチ』
・・適材適所を実現する
新世代型Web求人サイト

<http://www.merise.co.jp/> **merise**

**人財の流動化
新規労働力確保**

①
地方人財

地域密着型で、地域認知度の高い
求人情報誌「ing」、「JOBPOST」



③
アジア人財

中国最大級日本語学習
ポータルサイト
珈琲日本語論壇
と業務提携と経営参画

**珈琲
日本語**

<http://coffeejp.com/>

さらなる売上高の向上とコスト削減に取り組む

Web媒体による売上強化

■アイショッキング

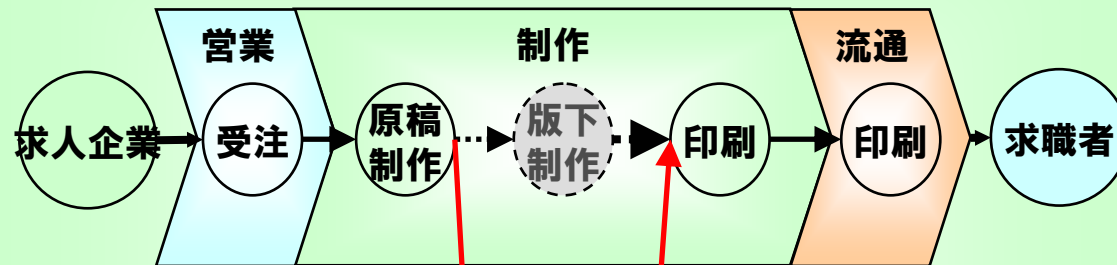


開くと(クリックすると)



ページをめくる感覚で閲覧可能

原価率の改善

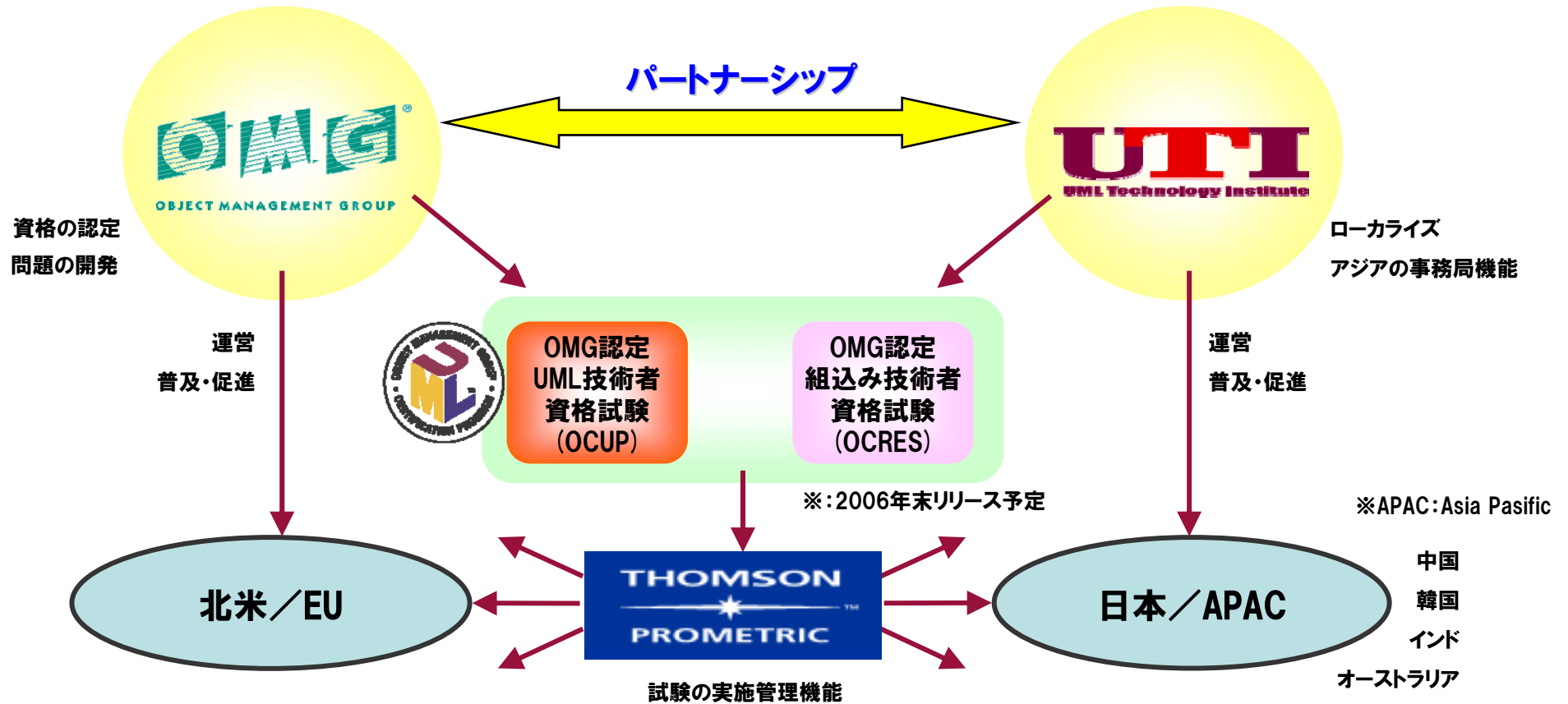


版下制作
◆BPA※(中国)◆

制作の一部を中国へ移管

アイショッキングと制作業務請負の事業化も検討

世界最大の技術標準化推進団体である“OMG”と
唯一のパートナーシップを締結し、APAC*)で事業展開しているUTI



※OMG: Object Management Group (USA)
 ※UTI: UML Technology Institute
 ※OCUP: OMG-Certified UML Professional Program
 ※OCRES: OMG-Certified Real-time Embedded Specialist Program

アジアパシフィック地域における、高度IT人材育成と流動化の仕組みの確立

- UTIの強み
 - OMGとの連携により、アジアパシフィックにおいて、事業拡大する仕組みが完成
 - 高度IT人材データとノウハウが蓄積
- 下期トピックス
 - 新資格試験：『OMG認定組込み技術者資格試験 (OCRES)』の開始
 - 既存資格試験：『OMG認定UML技術者資格試験 (OCUP)』の総受験者数が1万人に達する見込み

アジア人財を紹介する事業を準備中

中国



ベトナム



珈琲日本語論壇



<http://coffeejp.com/>

教育・紹介
コンサル

教育・紹介コンサル



紹介

企業

IT企業

製造業企業

etc.

珈琲日本語論壇とは本年7月に業務提携、
8月には役員を派遣し、経営に参画

<珈琲日本語論壇分析データ>

2003年8月14日の開設
 会員人数: 約96,000人(2006年6現在)
 ユニークアクセス数: 約8,000人/日(Google Analytics 調べ)
 ページビュー: 約80,000PV/日(Google Analytics 調べ)
 2005年度「上海日本語年会」(主催: 新世界教育グループ、後援: 在上海日本国総領事館、上海考試中心)でも「最も人気のある日本語学習サイト」として紹介

環境変化にフレキシブル&スピーディーに対応し、ビジネスモデルを変化・進化

● 事業戦略

- 新世代求人サイト:『merise (ミライズ)』を、環境変化にフレキシブルに対応できるように、ビジネスモデルを変化
 - コンテンツの拡充
 - サイトリニューアル
- 下期は更に変化のスピードを加速
- その他トピックス (上期)
 - 分社化:株式会社ピーエイITソリューションズ設立
 - 小回りの利く組織構造へ変革
 - » 独立採算制を目指す
 - » 迅速な意思決定



<http://www.merise.co.jp/>

上期は事業基盤の強化を実施

下期は、ALL 黒字化

- **本体全事業部ならびに、全関連会社の**経常利益黒字化**（月次ベース）を目指す**
- **外部環境変化に柔軟に対応できる**ピーエイグループ体制の抜本的構造改革**を行う。**